平成22年(2010年)8月28日 (土曜日)

五葉山を愛する気仙内外の有志で構成する五葉山自然俱樂部(菊池賢一代表)は、本紙連載中の「五葉山の魅力」リレーエッセイについての感想や提言を募集する。来年1

月からの開始を予定している新連載企画用の原稿として本紙に掲載する

もので、読者からの寄稿を呼びかけている。

同倶楽部は

五葉山や五葉山麓に愛着を持ち、その魅力を共有する人たちが集い、平成10年2月に設立。以来、五葉山と周辺の豊かな自然を後世に残し、その素晴らしさを伝えようと、フォーラムや写真展、自然観察会、登山会などの活動を展開している。

会員らによるリレーエッセイは、倶楽部10周年記念事業として一昨年の秋からスタート。28日付のエッセイで連載回数が98回となり、節目の100回が近づいている。

同倶楽部は10月までの掲載を予定しているが、これまで

のありようを考えていく新連載「五葉山からの贈り物」も共に有り、共に生きる(仮称)を企画。来年1月から8月までおおむね30回にわたって本紙に掲載する予定で、9月1日からリレーエッセイについての感想や提言など読者の声を広く募集する。

新連載に向け原稿募集

五葉山自然倶楽部 リレーエッセイへの感想

募集期間は11月30日まで。読者からの寄稿は同倶楽部で整理、分類のうえ、新連載として紙面紹介する。

問い合わせ、寄稿先は同倶楽部・千葉修悦事務局長(〒029-2501住田町上野住字天嶽197の1、TEL0192-48-2196、Eメール:narachan@mx91.tki.ne.jp)。

多くの読者からエッセイへの共感の声が関係者に届いており、執筆者からも改めて五葉山の魅力を伝えたいとの要望が寄せられているという。こうしたことから、同倶楽部は五葉山の自然の豊かさを後世に伝えていくことの意義や自然を介して日本人や社会